

令和5年度玉名女子高等学校 学校評価

学校教育目標 基本方針

綱領「質実剛健」「良妻賢母」「温雅貞淑」をふまえた教育実践を行う。

普通科・ビジネス科・食物科・看護科・看護専攻科の専門教育の特徴を生かした多様な学びの中で、生徒の特性をふまえその資質や能力を最大限に伸ばす。

令和5年度 努力目標

1. 安心・安全に過ごせる学校づくり
2. 授業改善、基礎学力の充実及び専門性向上のための指導
3. 基本的な生活習慣の確立を図るための取組（見えない学力の充実）
4. 文武両道
5. 人権教育の推進
6. 生徒と向き合う時間の確保

重点努力目標に対する自己評価総括

	重点努力目標に対する自己評価総括		総括
	評価項目	評価	
重点目標 1	1 安心・安全に過ごせる学校づくり	B	「健康と安全」については教師の評価は上がっているが、生徒の評価は漸減している。コロナ禍による制限が緩和されたことによる不安もあったと考えられる。必要な対策を行いながら、生徒の不安に配慮しつつコロナ以前の教育活動を行う工夫をしていく必要がある。「いじめのない環境づくり」については生徒・保護者の肯定的評価は6割を切っているにもかかわらず、教師の評価は95%と昨年度よりさらに両者の評価が乖離した。生徒の否定的な評価は減少しているものの、2割の生徒が「わからない」と答えている。教師はいじめの認知に努めその都度解決しているつもりであるが、生徒・保護者には伝わっていない。教師はその現状を認識し、原因を考え対応していく必要がある。いじめに対する毅然とした指導や解決に向かう姿勢を真摯に示すことで改善できる。
	2 相談・支援体制の充実	B	教師の肯定的評価は8割以上で推移しており、教師の8割は家庭との連携もとれていると評価している。生徒・保護者の評価は少し上がっているものの6割程度である。これも生徒・保護者と教師の認識の差が大きい項目である。また、わからないと答えた生徒が2割いる。特に支援が必要な生徒に対しては学年、保健部、外部機関等が連携し、組織的に支援する形はできているが、まずはすべての生徒と日常的なコミュニケーションがとれているか点検する必要がある。
重点目標 2	3 教師の指導力向上	B	7割の保護者が「学校は教育目標をわかりやすく伝えている」と評価している。コロナ禍による制限が緩和されたので、さらに本校の教育活動を保護者をはじめ、学校外にも可視化していかねばならない。「わかりやすい授業になるように工夫している」と評価した生徒は微減。学年別にみると2年生が最も評価が高い。昨年度は1年生が最も高く、タブレットや大型モニター導入が一因と考えていたが、今年度は1年生が最も低い。他の要因を探り改善していく必要がある。今年度はWi-Fiも整備されたが、授業に変化がなければ評価につながらない。研修や工夫を重ね授業改善につなげていく。
	4 基礎学力充実のための取組み	B	教師の肯定的評価は上昇し、8割の教師が基礎学力が十分につくように努めていると答えている。一方でマナトレの効果についての教師の肯定的評価は3割を切り、「分からない」が2割を占めている。生徒の基礎学力についての肯定的評価は漸減し、7割を切っている。これらは昨年度とほぼ変わらない結果である。特にマナトレについては、毎年同様の結果で、そのたびに教材等検討しているが、変化がない。データを用いて効果を把握する方法を検討するとともに、教師の評価が上昇したにもかかわらず生徒の評価が下がっている要因を分析し対策を考える。
	5 専門性習得のための取組み	A	教師、生徒、保護者ともに肯定的評価が8割を超えている。コロナ禍の制限が緩和され、授業参観や学校行事等を保護者がみる機会が増えたためか、保護者の評価は特に上昇した。しかし、生徒の評価は徐々に低下しているため、教育課程の点検、ICTの活用など継続して研究に努めていく。検定については教師、生徒、保護者とも肯定的評価が7割を超えている。特に生徒の評価は漸増し、77.7%が「積極的に指導が行われていると思う」と答えている。取り組みの結果は検定の結果で評価することができるので、生徒のモチベーション維持、生徒・保護者の満足度につながるものである。現在の取り組みを継続するとともに、さらなる向上に努めていく。
重点目標 3	6 基本的な生活習慣の確立	B	頭髪・服装、気持ちのよい挨拶、掃除についての生徒の肯定的評価はいずれも7割を切っている。「基本的な生活習慣が身につくような丁寧な指導」については、教師の肯定的評価は78%、2割の教師が「丁寧な指導をしていると思わない」と答えている。生徒・保護者の肯定的評価はいずれも67%である。生徒の否定的な評価は漸減しているものの、「わからない」の割合が増えている。特に前述の3項目は本校が大切に指導してきたことであり、外部から評価していただけてきたことである。ほかの生活習慣、学習面にもつながる基本的なことであるので、すべての教員が日常的に機会を捉え、根気強く十分に伝える指導を行うようにしなければならない。